

「寄り添いつながる育成会活動をしていきましょう！」

(一社) 栃木県手をつなぐ育成会

会長 小島 幸子

栃木県手をつなぐ育成会をいつも応援していただきありがとうございます。

去る7月1日(木)に育成会活動委員会を開催しました。那須塩原市の本澤さんからは、地域の皆さんに知的・発達障害の理解を深める活動をしている「カラフルBOX」の紹介やデジタルサイネージを使った情報発信、また「けあらーず かふえ」での親の会の役割の説明がありました。真岡市の佐護さんからは、1人ひとりの本人の希望に丁寧に寄り添った旅行など行事の活動内容や親同志の交流を深めていく工夫などの報告がありました。その後、参加者で情報交換を行いました。コロナ禍で総会が開催出来ないで、会員宅を手分けして訪問して近況を聞きながら、会費を集めたという地区がありました。育成会のパンフレットを新しく作成したので特別支援学校のPTAの皆さんにもお配りしたいわ〜という地区もありました。また将来の暮らしをイメージするために入所施設やグループホームを利用している本人の保護者を招いて座談会を行うという地区もあり、その場には相談支援専門員さんにも来ていただきわからないことは、教えてもらうようにしたいとのことでした。実は、今回が初めての開催となる育成会活動委員会でした。各地区の取組を聞いて自分のところでもやってみようかなあ〜と積極的に前向きな感想が聞くことが出来て私もとても嬉しかったです

次に7月11日(日)に関東甲信越ブロック群馬県大会がオンライン配信で開催されました。オンラインでのブロック大会は全国の育成会としても初の試みなので群馬県の育成会さんは準備が大変だったと思います。本当にお疲れさまでした。栃木県からも多くの皆さんがリアル配信を聞いて下さりまして、ありがとうございました。テーマは「コロナに負けない!つなげていこう育成会活動〜今だからこそ考える 育成会の大切さ〜」でした。東京都育成会の佐々木理事長からは、知的障害のある人がコロナウイルスに感染したケース、その家族が感染したケースなど具体的なお話があり、考えさせられました。私は関東甲信越ブロック長として「寄り添いつながる育成会活動をしましょう!」と元気に発言して来ました。今後、見逃しの配信もありますのでまだ視聴されていない方はご期待下さい。ホームページでもご案内いたします。どうぞよろしく申し上げます。